

ポローニャ大学への協定留学(交換留学)の月例報告書(2023年3月)

星葉奈佳

【ご挨拶】

皆さんこんにちは。だいぶ暖かくなり、季節はすっかり春ですね。文芸大や日本各所では桜が満開になっている頃でしょうか。ポローニャの街でも桜が咲いているところがあります。正直、桜を見ると日本が恋しい気持ちになります。しかしポローニャで春を過ごすことができるのも今だけ！ダウンジャケットを脱いで、春風を感じながら穏やかに、勉強に対する熱意は忘れずに4月を過ごしたいです。花粉症の方はお大事に…！

【勉強について】

3月は留学生向けのイタリア語のクラス、通称「CLA」に週2回通っていました。2月の後半から5月の中旬までの計20回、授業が設定されています。私のクラスはA2レベルで、イタリア語初心者～少し知識がある人で構成され、人数は20人程います。一緒に留学しているSUACの仲間とCLAの話になった際に、クラスのレベルが違うことが原因なのか定かではありませんが、教室の場所が大きく異なっていたので、留学する際はご注意ください！（また、CLAのレベルが異なっているときはもちろん、同じレベルでも先生が違う場合は、授業スタイルも課題も変わってくるので、私の記す内容が絶対ではありません。ご了承ください。）

私は初回と2回目の授業を欠席してしまったので、ついていけるか不安になりながら第3回から出席しました。結果的にはイタリア語の基礎的な授業内容だったので、第3回の授業からでも難なくついていくことが出来ました。主な授業の進め方は、「先生が用意したプリントの問題か教科書の問題をペアやグループで解いて全員で答え合わせをする」、「イタリアの文化と自分の出身地の文化を比べて発言する」の2つです。板書するというスタイルではなく、ひたすら解いて応用が利くようにするタイプの授業だなと私は感じます。イタリア語で授業が進みますが、生徒の大半が理解できないような内容は英語でも説明してくれるので安心です。

問題を解いているときに分からない単語があれば、基本的に生徒は辞書やグーグル翻訳を使っています。しかし、文化的な側面で疑問があれば生徒は積極的に「Ho una domanda」と言い挙手しています。「授業中、わからないところが出たらすぐ手を挙げて質問する」「授業中に問題は解決する」、この留学生達の姿勢が私は大好きで、見習わないといけないと思っています。私は間違いをするのが怖くてなかなか手を挙げられません。しかし、たとえ彼らが問題の答えを間違っていたからといって私が気にしないように、彼らも私の間違いを気にしていないのだと思っ

て問題解決に努めたいと思います。5月まで頑張ります。

【普段の生活で気付いたこと】

3月は特に遠出もせず家にいたので、日常生活について少し書かせていただきます。

SUAC の友人とラーメンを食べに行った際に話題になったのですが、フルーツに対するハードルが下がったという話をしました。

日本で一人暮らしをしているとき、フルーツを買うのは値段的にハードルが高く、一人では食べきれないという理由で私自身はフルーツを買っていませんでしたが、ポーロニャに来てからフルーツをよく食べるようになりました。味や大きさ、見た目のクオリティは日本と差があると感じる人もいるかもしれませんが、値段は安く手取りやすいし、バナナは房から必要な本数だけもぎ取って買うことができます。バナナだけではなく水もそうで、まとめ売り以外の水は、包装されているビニールから外して一本だけ買うことができます。ルームメイトや CLA のクラスメイトもよくフルーツを食べているので、フルーツが身近にあるのは健康的でいいなと感じています。

また、友人とラーメンを食べたと書きましたが、ポーロニャはラーメンや寿司など日本料理を提供する店やレストランがすごく多く、お米も売っているので、日本食が恋しいときはすぐ食べることができます。UberEats や Glovo など、デリバリーサービスも豊富なので食事には困りません。ただ、私はイタリアに来てから Glovo を使おうと思ったとき、イタリアの携帯電話番号がないと使えないという事態に遭遇しました。Glovo のほうが UberEats より日用品の面で配達できるものが多いので自炊が苦手な人やスーパーが近くにないところに住む場合は、イタリアで携帯の電話番号を持つことを推奨します。

ある程度慣れてきた生活の中でも、色んな違いに気付き、感動できる人でありたいです。

【これからのこと】

4月は授業が少ないので遠出をたくさんする予定です。

建物、土地、食べ物など、素敵な出会いが待っていると期待しています。

左：CLAの授業風景。

右：カフェのショーケース。もうすぐPasquaです

